

こんにちは。鈴木 拓です。

「基礎英語講座 New Beginning」をご利用いただきありがとうございます。

今号も引き続き、「時制」のお話、今回は「過去」を表す時制です。

■過去形と現在完了形

今まで、過去を表す時制として、

「過去形」と「現在完了形」をお話し、
今まで同じように扱ってきました。

ただ、この2つ、微妙な差があるのです。

過去形と現在完了形の違いについて、
多くの方が、「違いがわからない」と悩んでいます。

その理由は、「実ははっきりとしたルールがない」ということにつきます。

学校の授業を聞いたり、多くの教材を読むと、

「すべてを事細かにきっちり使い分けないといけない」

という印象を受けると思います。

しかし、実際にネイティヴはどう使っているか？

これを見ていくと、全くそんなことはないのです。

実際のところは、そんな細かい使い分けをしなければいけないという
ケースはかなり少ないです。

TOEICなど、実用英語を題材にした試験では、
そんな細かい違いを問う問題はありません。

そんな中でも、

「このケースは、過去形じゃないとダメですよ」
「このケースは、現在完了形じゃないとダメですよ」

というケースも少しありますので、今号で、そちらを解説させていただきます。

具体的には

1：過去形しか使えないパターン1つ

2：現在完了形しか使えないパターン1つ

3：現在完了形の方が好まれるパターン2つ
をお話しさせていただきます。

なお、上記のように、「実用英語」という観点では、
本講座の内容を押さえておけば十分ですが、

「学校の試験」においては、先生によっては、
「ネイティヴが実際にどう使うかではなく、
厳密なルール通りに出題する」
という先生もいます。

その場合は、先生の採点が絶対となってしまうため、
その先生のルールに従ってください。

(ただ、実用英語ではそこまで気にすると逆効果です)

■ 1：過去形しか使えないパターン1つ

「過去のいつかをはっきり言っている時」
は過去形しか使えません。

例えば、

I ate a hamburger at twelve o'clock.
「私は12時にハンバーガーを食べた」

の場合は、

- . ハンバーガーを食べた
★

過去 12時 現在 未来

と、「12時」と「過去のいつか」をはっきりと述べており、
過去形しか使えません。

また、12時のようにピンポイントではなく、幅のある期間でも同様で、
それがすでに過去であれば、過去形しか使えません。

He was a good student when he was in high school.
「高校時代、彼は良い生徒だった」(もうすでに高校を卒業した人)

- . 良い生徒だった
★————★

過去 ←→ 高校時代 → 現在 未来

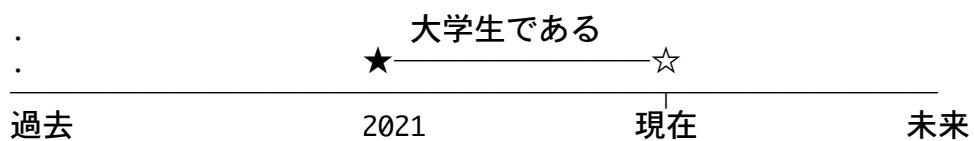
■ 2 : 現在完了形しか使えないパターン1つ

「過去から始まったことが、今まで継続している場合
(今ちょうど終わった場合も、今後も継続の場合も)」

こちらは現在完了形しか使えません。

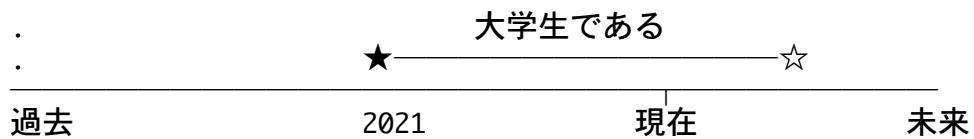
例えば、2021年に大学生になり、今も大学生なら、

I have been a college student since 2021.
「私は2021年から大学生です」



と、現在完了形しか使えません。

上記の図は「今大学を卒業する」ように見えるかもしれません、
↓の図のように、引き続き大学生を続ける場合も使えます。



■ 現在完了形と相性の良い副詞forとsince

現在完了形で、「過去から現在までの継続」を表す場合、
forとsinceと一緒に使われることが多いです。

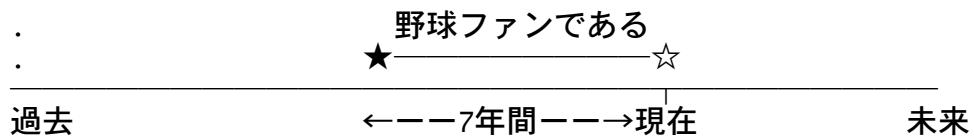
forは「～の間」と、「期間の長さ」を表し、
sinceは「いつから」と、「開始時点」を指します。

まずはforの例。

forは前置詞ですので、後ろに名詞を置いて、「期間の長さ」を表します。

例 : I have been a baseball fan for seven years.
「私は7年間野球ファンです」

こちらでは、for seven yearsで、「7年間」という期間を表します。

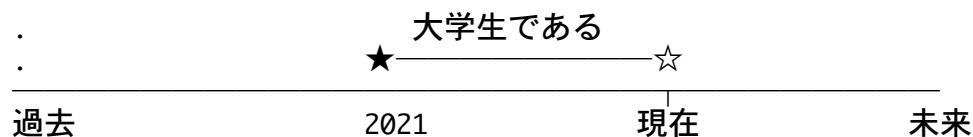


続いて、sinceの例。

sinceは前置詞としても、従属接続詞としても使用可能で、後ろに、名詞か文で、「開始時点」を表します。

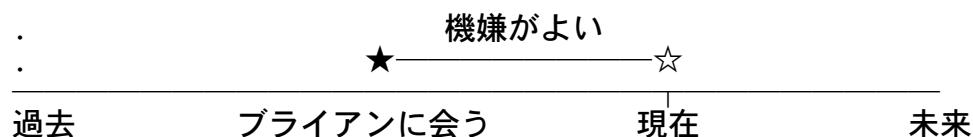
まずは前置詞の例は、先ほどの文がその例です。

I have been a college student since 2021.
「私は2021年から大学生です」



続いては、従属接続詞の例。

She has been happy since she saw Brian.
「彼女は布莱恩に会って以来、機嫌が良い」



■ 「継続」でも、今まで続いていない場合は過去形

上記のように、

「過去から始まったことが、今まで継続している場合
(今ちょうど終わった場合も、今後も継続の場合も)」

この場合は、現在完了形を使用します。

ここで見落とされがちなポイントは、

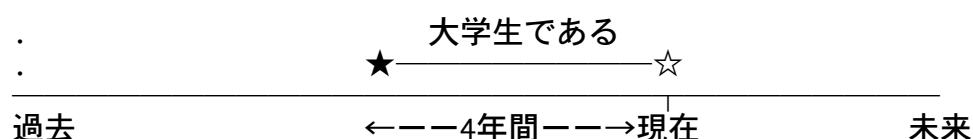
「今まで」の部分です。

継続であっても、もう終わってしまった継続には使えず、
その場合は、過去形を使わないといけません。

例えば、「私は4年間大学生でした」という場合。

今も大学生、あるいはちょうど今卒業であれば、
「今まで継続」なので、現在完了形で、

I have been a college student for four years.



となります。その4年間が過去の場合。

例えば、もう社会人であり、今は大学生でないのなら、「今まで」継続しておらず、過去に終わったことなので、過去形で、

I was a college student for four years.



とする必要があります。

■ 3：現在完了形の方が好まれるパターン2つ その1 「経験」

ここからは「現在完了形の方が好まれるパターン」をお話しします。

今までは、「どちらか片方でないとダメ」なパターンですが、今回は「好まれる」なので、現在完了形が好ましいけど、過去形を使うネイティブもいる、というパターンになります。

1つ目は「経験」を表す場合。

「今までに～したことがある」という経験を話す時は、過去形よりも現在完了形が好まれます。

例えば、「私はコンビニで働いたことがある」は、

I have worked for a convenience store.

と現在完了形で表すことが好れます。

「好まれる」であり、過去形でも間違いではないのですが、本講座では、「好まれる」場合は、そちらを使っていく方針を取らせていただきます。

■ 経験の否定「～したことがない」はneverを使う

この「経験」を表す表現。

否定文の場合、neverを使って表現します。

例えば、「私はコンビニで働いたことがありません」は、

I have never worked for a convenience store.

とします。

■ 「～に行ったことがある」

経験において、「～に行ったことがある」という意味の英文を作る時は注意が必要です。

「～に行く」という意味の動詞はgo toですから、これをそのまま現在完了形にして、

今日本にいる状態で、
「ニューヨークに行ったことがある」

を英語にすると、

I have gone to New York.

になります。

しかし、これだと「私はニューヨークに行ってしまって、今は日本にいない」という意味になってしまいます。

「～に行ったことがある」の場合は、

have gone to

ではなく、

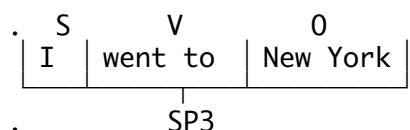
have been to

とgoneの代わりにbeenを使う必要があります。

I have been to New York.

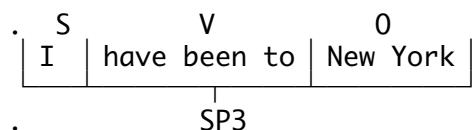
なら、今日本にいて、
「ニューヨークに行ったことがある」という意味を表せます。

構造図も、



が、went単独だと第1文型だけど、
went toセットで第3文型のイディオム動詞とするように、

「行ったことがある」のhave been toのbeenはgoneと同じだと思って、



と第3文型のイディオム動詞として見ます。

■ 3：現在完了形の方が好まれるパターン2つ その2 「完了」

こちらは経験ほど強い傾向はありませんが、「これを終えた」という「完了した」という意図を伝える場合は、過去形よりも現在完了形が好まれます。

例えば、

I have already solved this problem.
「この問題はすでに解決した」

は、「すでに完了してますよ」という意味なので、現在完了形を使っています。

■ 「完了」の現在完了形と相性の良い副詞alreadyとyet

完了の現在完了形は、already、yetと相性がよく、一緒に使われることが多いです。

alreadyは「すでに～しました」という意味で、普通の文で使われます。

先ほどの例、

I have already solved this problem.
「この問題はすでに解決した」

がその例です。

yetは、「まだ～していません」という意味で、否定文で使います。

例えば、

She hasn't finished her homework yet.
「彼女はまだ宿題を終えていない」

は、その例。

このように、yetは文末につけて使うことが多いです。

■ 過去のいつかをはっきりと言った場合は、「経験」「完了」でも過去形

上記のように、経験と完了を表す場合は、現在完了形が好まれます。

ただし、「好まれる」というだけ。

一方、「過去のいつかをはっきり言っているときは過去形」は、

過去形「でないとダメ」と、強い条件付きです。

なので、「経験」「完了」であっても、過去のいつかをはっきりと言つていれば、そちらが優先され、過去形でなければいけません。

例えば、単に「私はニューヨークに行ったことがある」でしたら、

I have been to New York.

ですが、「私は子供の頃にニューヨークに行ったことがある」だったら、

I went to New York when I was a child.

と、過去形(went to)でなければいけません。

when I was a childと過去のいつかをはっきりと言つているからです。

. ニューヨークに行った
. ★

過去 子供の頃 現在 未来

■過去のいつかをはっきりと言わず、漠然と過去を表す場合はどちらでも良い

基本的に、今回の内容は以上となります。

- 1 : 過去のいつかをはっきりと言つているなら過去形
- 2 : 現在までの継続を表すなら現在完了形
- 3 : 経験か完了を表すのなら、現在完了形が好まれる

これ以外の場合、非常によくある、

「過去のいつかをはっきりと言わず、漠然と過去を表す場合」

この場合は、過去形と現在完了形、どちらでも良いのです。

例えば、「私はこの本を買いました」は、

I bought this book.
I have bought this book.

のどちらでも大丈夫です。

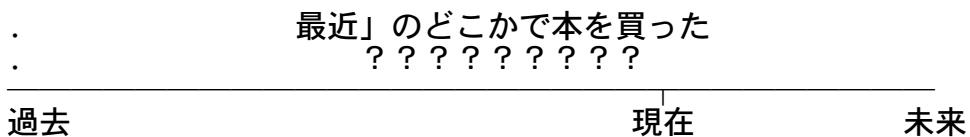
. 過去のどこかで本を買った
? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ?

過去 現在 未来

また、recently「最近」のように、過去のいつかを言つてはいるものの、はっきりとは言つていない場合も同様で、

I bought this book recently.
I have bought this book recently.

と、どちらも可能です。



ただ、この場合も、過去形の方が無難です。

なので、まとめると、以下のようにになります。
問題を解く際も、このようにやってみてください。

1：過去のいつかをはっきりと言っているなら過去形

2：今までの継続を表すなら現在完了形

注→「今まで」ではなく、過去に終わった継続なら過去形

3：経験か完了を表すのなら、現在完了形が好まれる

注→経験か完了でも過去のいつかをはっきり言っていたら過去形

4：過去のいつかをはっきりと言わず、漠然と過去を表すならどちらでもOK

注→ただし、過去形の方が無難

【実際に英文を作ってみよう！】

単語を並べ替えて、日本語の意味の英文を作ってください。

※：ただし、以下の単語は並べ替えるべき単語に入っておらず、
適宜自分で補って考えてみてください。

I、me、we、us、you、he、him、she、her、it、they、them、this、these、
that、those、my、our、your、his、its、their、there、and、or、but、
従属接続詞、so、such

なお、問題を解く際に↑の単語を見てはいけません。

※：be動詞はすべてbeと表示します。適宜amやis、have beenなどに直してください。

※：否定文を作るのに必要な単語（notやdoなど）は単語リストに入れていません。適宜自分で補ってください。

※：am notのように短縮できない場合でも、「否定を短縮形で」と指示する場合がありますが、短縮ができない場合はそのままの形にしてください。

※：動詞は三人称単数のs、時制は一切関係なく、すべて現在形で表示してあります。適宜自分で直してください。

※：本来、anとすべきところも、aとしています。
その場合は、適宜anと直してください。

※：ifやwhetherの最後のor notは単語リストに入れておりません。

1. 私は3日前にあの映画を見た。
(watch/ago/movie/days/three)
2. ライアン氏は2016年以来、市長である（今も）。
(2016/the/Mr. Ryan/be/mayor/since)
3. ジョンソンさんは2年間、私の上司です（今も）。
(years/two/boss/Mr. Johnson/be/for)
4. 私たちは知事と話したことがないのです。
(governor/talk/never/to/the)
5. 私はまだあの古代の城に着いていません。
(castle/to/get/ancient/yet)
6. あの音楽家は、彼女がテレビ番組に出て以来、人気です。
(appear/the/be/TV/musician/popular/on/show)
7. 私は横須賀に行ったことがある。（1語余計な単語あり）
(go/Yokosuka/to/be)
8. 私は2001年にアメリカで野球の試合を見たことがある。
(in/America/baseball/watch/in/a/game/2001)
9. 私は10歳の時、6ヶ月、フランスに住んでいた。
(years/for/be/old/in/ten/live/France/months/six)
10. 私は九州の中の小さな村を訪れました。
(a/village/Kyushu/visit/small/in)